

インテグレート大学院理学教育 (BMC プログラム) 学会発表報告書

理学研究科 高分子科学専攻 高分子反応化学研究室 M1 松村卓哉

参加学会 日本化学会第 88 春季年会

期間 2008 年 3 月 27 - 29 日

会場 立教大学池袋キャンパスおよび立教池袋中学校・高等学校

私は、2008 年 3 月 27 日から 3 月 29 日にかけて、立教大学池袋キャンパスおよび立教池袋中学校・高等学校で開催された日本化学会第 88 回春季年会に参加しました。

この学会で、私は、「パラフェニレン骨格を持つ拡張型オリゴ(L-チロシン)の合成と性質」というタイトルで口頭発表を行いました。学会での口頭発表はプレゼンテーション技術を向上させる非常によい機会であり、また、発表や討論を通じて、課題点が明確になり、今後の研究活動に生かしていきたいと思います。

日本化学会の春季学会は、規模が非常に大きく、高分子をはじめ、物理化学、有機化学など幅広い分野の研究発表を聞くことができ、非常に有意義でした。

最後になりましたが、今回このような学会発表の機会を与えてくださったインテグレート大学院理学教育プログラム (BMC プログラム)に感謝の意を表します。